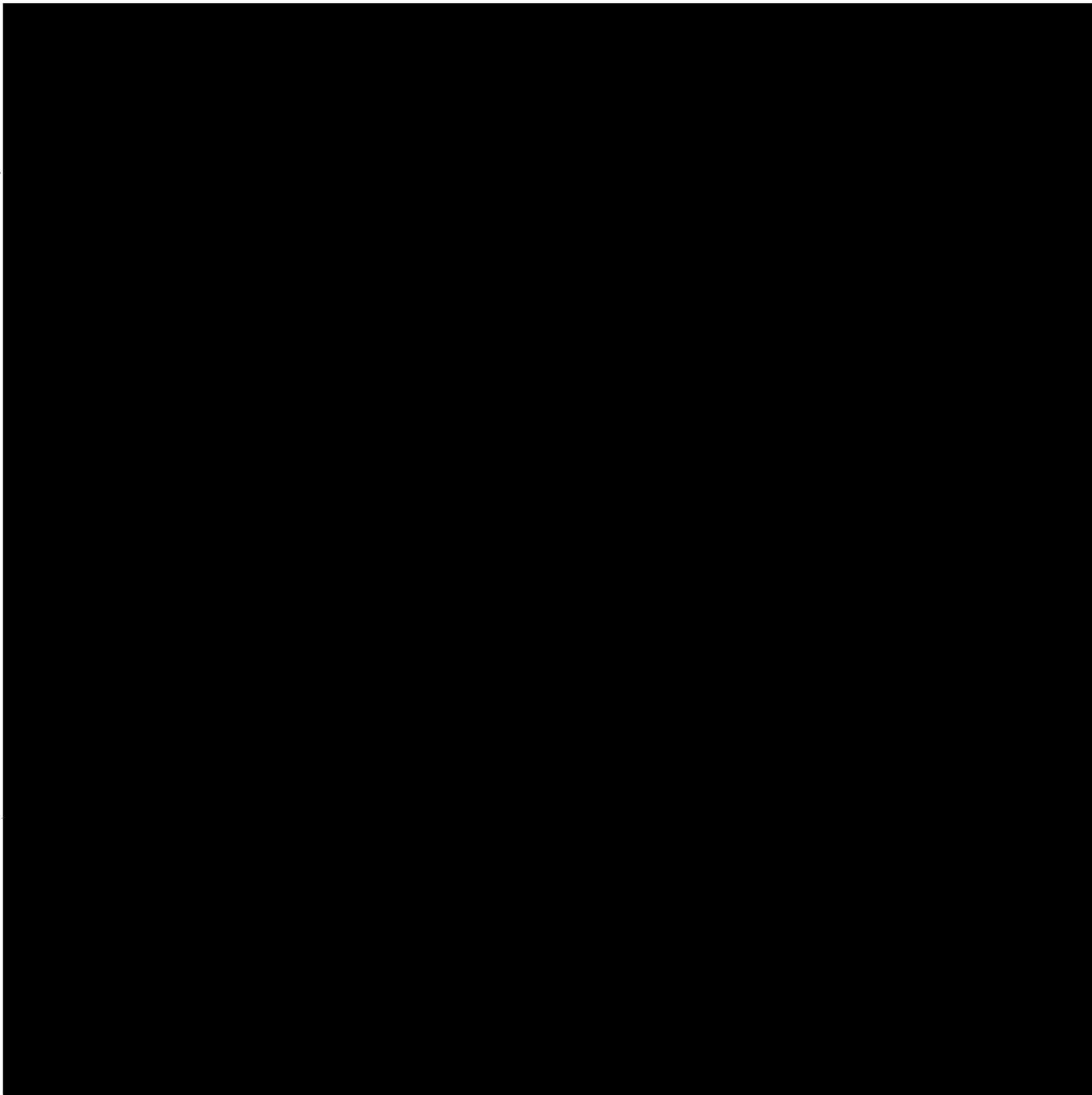


小論文

受験番号

（2枚中1枚目）

以下の文章を読んで、下記の問に答えなさい。解答は解答紙の解答欄に記述すること。

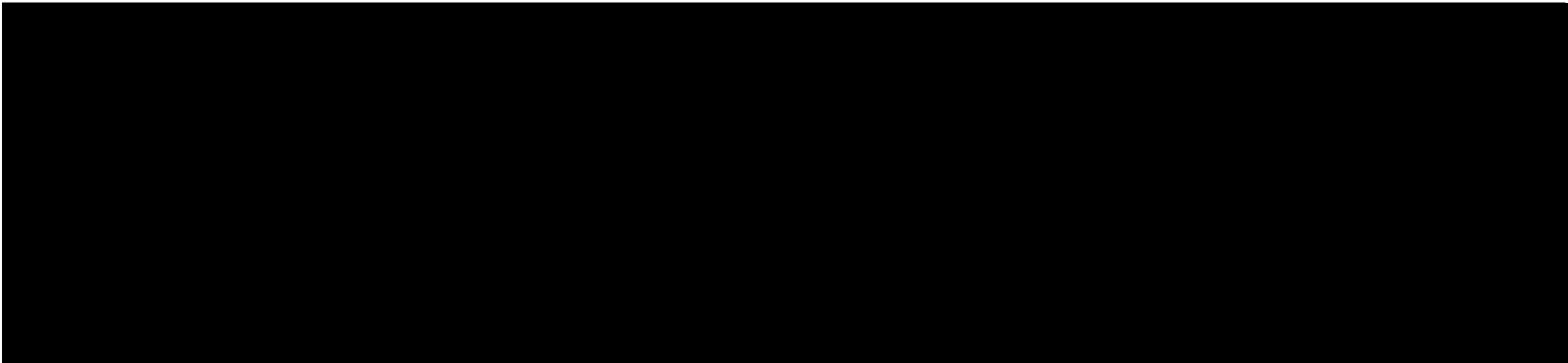


（2枚目に続く）

小論文

受 験 番 号

(2 枚中 2 枚目)



向井周太郎『デザイン学 思索のコンステレーション』（武蔵野美術大学出版局、2009 年）

*ヨハネス・イッテン 20 世紀の前半から中盤にかけて活躍したスイスの芸術家。ヴァイマル期のバウハウスで予備課程（造形教育）を担当する。表現主義的な傾向によって当時バウハウスの学長であったグロピウスと衝突し辞職する。

問1 筆者は提示文中の下線部（1）において「退化化や劣化自体がまた新たな生成としての価値を持つ」と述べているが、それはなぜだと考えられるか。筆者の論旨を踏まえつつ、事例を挙げながら解答者自身の考えを 10～15 行程度で述べなさい。（40 点）

問2 下線部（2）はイッテンの作品が「私たち」に与える効果について述べているが、そのような効果を発揮する作品、製品、建築物、出来事などの具体的事例を一つ挙げ、それがどのようなものかについて説明したのち、なぜそれが下線部（2）のような効果を与えるのかについて 20～30 行程度で説明しなさい。（60 点）